

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援工房 鳥飼教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有と連携を重視し、支援前後のミーティングや記録を通して、チームで一貫した支援を行っている。	支援開始前後のミーティングや記録を通して、支援内容・役割分担・留意点を職員間で共有し、チームで一貫した支援を行うことを意識している。	研修の機会を計画的に確保し、職員の専門性や支援力の向上につなげていく。
2	生徒一人ひとりの特性や状況を踏まえ、個別支援計画・モニタリング・記録を通して支援内容の見直し・改善を行っている。	日々の提供記録や振り返りを継続し、生徒の変化や支援の効果を確認しながら、支援内容の調整や改善につなげている。	記録内容や情報共有の方法を整理し、モニタリングや支援計画の見直しに、より活用できる体制を整えていく。
3	安全管理・虐待防止・緊急時対応等について、マニュアル整備と職員間の共通理解を図り、安心・安全な支援体制を整えている。	安全管理、虐待防止、緊急時対応についてマニュアルを確認し、職員間で共通理解を図りながら、安心・安全な支援を意識して行っている。	保護者や関係機関との連携をさらに深め、意見や要望を支援内容や事業運営に反映できるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置や業務体制の都合により、十分な時間確保が難しく、研修・振り返り・外部評価等を計画的・継続的に実施しきれていない。	職員配置や日々の業務が多岐にわたる中で、研修や振り返り、外部評価等に十分な時間を確保することが難しく、計画的・継続的な取組が行いにくいことが要因となっている。	研修や事例検討、振り返りの時間を計画的に確保し、職員の専門性向上や支援の質の安定につながる体制づくりを進めていく。
2	地域・関係機関との連携について、必要時の情報共有は行っているものの、定期的な連携や交流の機会が十分とは言えない。	地域や関係機関との連携については、必要に応じた対応が中心となっており、定期的な情報交換や交流の機会を設ける体制が十分に整っていないことが要因である。	地域や関係機関との連携について、情報共有の方法や機会を整理し、継続的な連携が図れる体制づくりに取り組んでいく。
3	保護者・家族支援や説明・参画の機会について、個別対応は行っているが、父母の会等を十分にできていない。	保護者や家族支援について、個別の相談対応は行っているものの、父母の会や家族支援プログラム等を実施するための仕組みや時間の確保が難しいことが要因となっている。	保護者や家族への説明や参画の機会を見直し、家族支援の在り方について段階的に整理・充実を図っていく。